

やすらぎ通信

神様と仏様

コロナも五類になり、久々に京都の研修旅行に参加しました。修学旅行の学生さん、円安からか、海外の旅行者が多く、ヨーロッパ、アメリカ、韓国、中国等の観光客で溢れんばかりでした。

個人的には、奈良のシンボル写真として紹介されている春日大社の門の姿を一度見たいと思っていたので奈良まで足を延ばしてみました。春日大社では、宮司さんのご案内を拝聴することができました。

所せましと沢山並んでいる灯籠の寄進者の中には、古来有名な人の名前が刻まれていました。お話の中で、春日大社は興福寺と永く親交があり、正月には興福寺の僧侶たちが読経に大社にお参りするの恒例になっていると聞き、大変驚きました。

古来より日本では、神仏混交でどちらも同格に拝んできました。明治時代、海外との戦争を行う状況下で神仏は分離せざるをえなくなり、今に及んでいます。江戸時代までは神仏同格といえども、仏教の方が力関係は強かったようです。日本の神教を第一とすることから廃仏稀釈となり、寺院や僧侶は弾圧されました。そして、寺院神社は神社に統制されま

お盆号

した。明治維新は仏教界にとって、大変な暗黒時代だったのです。寺院は焼かれ、僧侶は「肉食妻帯勝手なるべし」との太政官令のもと、墮落させようとする無謀な法律が創られました。

先ほど灯籠の寄付の話をしました。これはもともと真言宗にもあったことで高野山に行きますと、回廊にはギッシリ灯籠が掲げられています。本来、神社もお寺も変わりなくその伽藍を護持してきたことがよく理解できます。

伊豆の八十八か所巡礼がありますが、尋ねてみるとお寺の脇には必ず神社があります。これは地方にはそれほど強い締め付けはなくそのまま保存され、信仰されてきたことによりです。

聖徳太子が仏教を日本に積極的に取り入れ、十七条憲法をつくり、仏教の教えで政治を行いました。時代も国も違いますが、ダライラマがチベットで仏教により国を統治したことと似ています。

現在は、信仰、宗教は自由となりましたが、海に囲まれた孤島である日本の中の宗教観は日本独特のもので、神仏あわせた信仰があり、「日本教」ともいえるのではないのでしょうか。お正月には神社に、葬儀は仏教でと、なんの不自然さもなく生活に溶け込んでいます。よく日本人は無宗教だといいますが、自然に私たちは日本という日本特有の土壌に住み信仰しているのです。

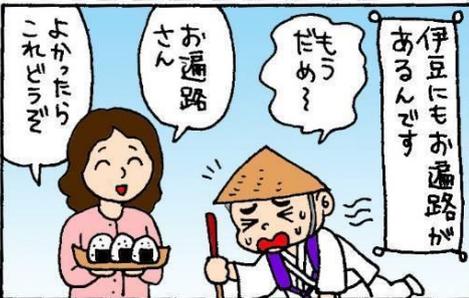
三明寺住職 大嶽正泰 合掌



春日大社

ちびだけ

作・イラスト：伊藤 洋一
画・茶畑 ちび



【檀信徒行事】

六月

- 坊之本家ご法事
- 飯塚家・小國家ご法事
- 道了講
- 大城家ご法事
- 影島家ご法事
- 渡辺家ご法事
- 高橋家・神田家ご法事
- 地藏講
- 岩田家・辻家・青木家ご法事
- 飯田家・杉山家ご法事

七月

- 菅野家・高橋家ご法事
- 藤江家・武家ご法事
- 道了講
- 檀信徒新盆・ペット新盆供養
- 檀信徒施食会
- お棚経・盆供養
- 塩野家ご法事
- 地藏講
- 中村家・山中家ご法事
- 小島家・岩本家ご法事

23	22	18	16	14	9	8	4	2	1	28	24	20	18	17	11	10	6	4	3
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

八月

- 山岡家ご法事
- 吉田家・湯原家ご法事
- 道了講
- お棚経
- 盆供養
- 市川家・勝野家ご法事
- 紅林家・齋藤家ご法事
- 地藏講
- 西山家ご法事
- じぞう寄席 古今亭菊之丞

【三明寺やすらぎ大学】

- 土曜写経会 読経・法話・写経
- 毎日坐禅 随坐
- 日曜坐禅 坐禅・提唱・喫茶
- 月例坐禅会 第一月曜日
- 月例写経会 第三月曜日
- 御詠歌 第一・三火曜日
- やすらぎ大学 休講

10	10	19	6	5	6	27	26	22	20	19	14	14	8	6	5
時	時	時	時	時	時	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

今年の施食会と新盆供養について

— お塔婆供養をしましょう —

三明寺祭典は、昨今の異常気象と猛暑を考慮し、屋外での祭典行事は行わないこととしました。本堂での施食会と新盆供養を併せて行います。新盆様、ご先祖様のお塔婆供養をお受けします。

【お知らせ】

□住職ラジオ法話

SBSラジオ 第4土曜日12時22分
コーストFM 月曜〜金曜7時30分

【編集後記】

住職は東部総和会会長、北小林自治会長、門池連合三役、ライオンズZC、寺族も宗務所婦人会々会長の任期を終了し、ホツとしているところです。伊豆八十八ヶ所〇番のお手伝いをするようになりました。御朱印を求める人が多くなりました。四人の弟子の修行が終わり帰山しています。今後ともよろしく願っています。

昨年、六月に門池子ども食堂をはじめ、一年になります。その後も全国的に増えている社会状況に疑問を感じます。

令和五年 六月 一日 第八十七号
発行所 大嶽山 三明寺
編集所 大嶽山 三明寺
住所 沼津市大岡三明寺四〇五一
電話 0555・9229・2323
FAX 0555・9229・2324
URL http://www.sanmyouji.com
メール info@sanmyouji.com



5月18日門池に白鳥が2羽飛来しました。こぶ白鳥です



釈尊誕生仏 花御堂



京都御所



正倉院



可睡齋 典座 小金山老師 のお話を聞きました



宗務所婦人会総会・研修会 4月25日



ラジオのお話が本になりました



朱印帳を三明寺で扱っています



伊豆88遍路 [検索](#)

検索してみてください

春彼岸会 3/21



梅花流ご詠歌の奉詠



先祖供養・ペット供養をおこないました。

かどいけ子ども食堂



三明寺別館に 子どもの居場所応援自販機設置
売り上げの一部が寄付されます



ライオンゲートのカレー弁当を提供しています

第132回じぞう寄席 5/28



沼津市で第1号のお披露目式



古今亭志ん好師匠



寄席のお手伝いをされている世話人さん



東落語の後の抽選会は楽しみの一つです